

施設名	指定管理者名	評価	評価内容
横浜市上矢部地域ケアプラザ	(福)であいの会	A	<p>(地域活動・交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域ケアプラザの認知度を高めるため、地域の行事や会議などに出向いて施設及び業務説明に努めました。また、多様な世代に情報が届くよう、SNS やツイッターといった情報発信ツールを積極的に取り入れました。 地域ケアプラザ内で毎月1回「災害対策・IT 委員会」を実施し、災害対策については、民生委員や障害福祉サービス事業者なども参加した特別避難場所設置訓練を行うなど、日ごろからの災害時の備えに取り組んでいます。 とつかハートプランでは、地区の行事や活動に協力したほか、地域に関する情報についてのマップの活用や多職種との連携などにより、2つの地区それぞれに適した支援・連携を行いました。 自主企画事業では、「子連れ de ヨガサロン」「ミニデイサービス」「おしゃべりスポーツ喫茶」など、各世代のニーズに合った工夫した講座の実施や、「上矢部ケアプラカード」による参加意欲向上への働きかけなどにより多くの参加があり、居場所づくりなどを進めるとともに、地域ケアプラザ全体の周知へもつながっています。 「おじさま力アップ講座」のOB からなるボランティアグループ「いいじい」による活動が、「いいじいカフェ」だけでなくの子育て世代の憩いの場や高齢者のしゃべり場など活躍の広がりを見せています。ボランティア同士の交流を進めるなど、意欲向上や活動の場を広げる支援、担い手になる支援を行っています。 <p>(生活支援体制整備事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域に関する情報についてマップを活用し、課題の抽出や解決に向けた協議・検討を行いました。 地域で気になる方を定期的に見守る体制の構築やつながりを作るため、多世代交流のイベントを開催しました。 町内会、老人会、サロン等において生活ニーズの聞き取りを行い、生活課題の洗い出しや現状の把握を行いました。 介護予防に関する講座の受講修了生を、ボランティア活動に派遣し、課題である男性の担い手の発掘につなげました。 <p>(地域包括支援センター)</p>

			<ul style="list-style-type: none">・ 地域包括支援センター職員が不在時に継続相談があった場合でも地域ケアプラザ内で相談ができる体制を整えています。・ 地域包括支援センター、生活支援コーディネーター、地域交流コーディネーターが連携し地域課題を把握し、インフォーマルの社会資源や地域情報について情報共有しました。・ 4つの地域ケアプラザの共催にて、権利擁護普及啓発の「ものしり大学」を市民向けに開催し、今年度は「エンディングノート」をテーマであり参加した方のアンケートでは9割の方が「満足」という回答が得られました。・ ケアプラザカードを作成し、ケアプラザ事業への参加意欲を高め、閉じこもり予防を図り地域包括支援センターの周知や介護予防につなげました。・ ケアマネジャーを対象とした勉強会を開催し、ケアマネジャーのスキルアップを図りました。・ 地域の会館や老人会、食事会等において、定期的に脳トレ、ハマトレ、はまちゃん体操を行いました。
--	--	--	--